

東北工業大学高等学校
(宮城県仙台市)

- 3月11日(金) 1・2年生登校日(午前) 英語スピーチ発表会(午後)
- 2時46分 M9.0の大地震** 1号館1階の学習センターに対策本部設置
校内にいた生徒約200名を中庭に集め名簿で確認:激しい余震が収まったのを見計らい
自宅の場所、交通手段を確認し自力帰宅させる。
自力帰宅できない30名近い生徒を対策本部に集める→先生方が手分けして自宅まで帰す
→津波の情報が入る。
夜8時過ぎに4名の生徒が帰宅できず学校へ戻る→避難学生が多い大学に収容
- 3月12日(土) 全教職員による被害状況調査 建築専門家による校舎の安全性確認
マスコミを通して生徒の登校禁止を周知 鹿島建設に応急措置依頼→着工
- 13日(日) 自宅の復旧に専念させる(管理職出勤)
- 14日(月) 電気復旧 電話・メールによる安否確認開始→65%の無事確認
HP, 携帯メール配信により安否確認と登校禁止を呼びかけ
15:00 大学にて合同対策会議 17:00 法人局長 被害状況視察
最後の避難生徒2名→保護者が引き取りに来る
- 15日(火) 第2次安否確認残り35名 職員室の物品整理
1・2号館だけで授業が成立できるかどうか検討(本館1階は管理機能のみとする)
マスコミから24日の終業式・25日の二次募集試験等流す
- 16日(水) 理事長被害状況視察 安否確認残り2名(無事は確信)
- 17日(木) 在校生全員・教職員全員の無事確認
特進を外部に移せば1・2号館で授業を成立させられる見通しが立つ。
- 18日(金) 大学に特進教室貸与願い(9号館3階の5教室)
- 22日(月) 大学から5教室の貸与了解得る 教室配置完成 24日終業式決定
マスコミ・メール・HPで情報流す(登校は無理をしない)
- 23日(火) 進級認定会議 卒業生の安否確認開始
- 24日(木) 離任式・終業式(約85%出席) 体育館と1号館のみ使用
被災状況・交通手段・健康状態等調査→全壊11 半壊12
- 25日(金) 二次募集試験・合格発表 卒業生を含む1020名の無事確認
- 28日(月) 水道復旧 入学手続き締め切り
- 29日(火) 臨時職員会議(クラス分け・持ち時数)
- 30日(水) 法人評議員会・理事会 被災救済措置決定
- 31日(木) 退職辞令交付式 職員室移動(本館から撤去)

東日本大震災とその後の学校の取り組み (4月末までの経過)

東北工業大学高等学校

- 3月11日(金) 1・2年生登校日(午前) 英語スピーチ発表会(午後)
- 2時46分 M9.0の大地震** 1号館1階の学習センターに対策本部設置
校内にいた生徒約200名を中庭に集め名簿で確認: 激しい余震が収まったのを見計らい
自宅の場所、交通手段を確認し自力帰宅させる。
自力帰宅できない30名近い生徒を対策本部に集める→先生方が手分けして自宅まで帰す
→津波の情報が入る。
夜8時過ぎに4名の生徒が帰宅できず学校へ戻る→避難学生が多い大学に収容
- 3月12日(土) 全教職員による被害状況調査 建築専門家による校舎の安全性確認
マスコミを通して生徒の登校禁止を周知 鹿島建設に応急措置依頼→着工
- 13日(日) 自宅の復旧に専念させる(管理職出勤)
- 14日(月) 電気復旧 電話・メールによる安否確認開始→65%の無事確認
HP, 携帯メール配信により安否確認と登校禁止を呼びかけ
15:00 大学にて合同対策会議 17:00 法人局長 被害状況視察
最後の避難生徒2名→保護者が引き取りに来る
- 15日(火) 第2次安否確認残り35名 職員室の物品整理
1・2号館だけで授業が成立できるかどうか検討(本館1階は管理機能のみとする)
マスコミから24日の終業式・25日の二次募集試験等流す
- 16日(水) 理事長被害状況視察 安否確認残り2名(無事は確信)
- 17日(木) 在校生全員・教職員全員の無事確認
特進を外部に移せば1・2号館で授業を成立させられる見通しが立つ。
- 18日(金) 大学に特進教室貸与願い(9号館3階の5教室)
- 22日(月) 大学から5教室の貸与了解得る 教室配置完成 24日終業式決定
マスコミ・メール・HPで情報流す(登校は無理をしない)
- 23日(火) 進級認定会議 卒業生の安否確認開始
- 24日(木) 離任式・終業式(約85%出席) 体育館と1号館のみ使用
被災状況・交通手段・健康状態等調査→全壊11 半壊12
- 25日(金) 二次募集試験・合格発表 卒業生を含む1020名の無事確認
- 28日(月) 水道復旧 入学手続き締め切り
- 29日(火) 臨時職員会議(クラス分け・持ち時数)
- 30日(水) 法人評議員会・理事会 被災救済措置決定
- 31日(木) 退職辞令交付式 職員室移動(本館から撤去)

- 4月 1日(金) 辞令交付式 職員会議
- 2日(土) サブアリーナ(アリーナ1階部分)使用可となる
- 4日(月) 職員会議(23年度学校経営方針) 教室移動作業
- 5日(火) 新任者ガイダンス 教科会 部会 《公立2次試験》
- 6日(水) アリーナ全面使用可となる
- 7日(木) 新任式・始業式 14:00～入学式
23時32分M7.1の大余震
- 8日(金) 臨時休校 大余震の復旧工事着工 机・ロッカー等の整理
- 9日(土) 協学会(PTA)役員会
- 10日(日) 11日(月)の臨時休校決定 マスコミ・メール・HPで情報提供
- 11日(月) 臨時休校 教科・学年・全体会議
- 12日(火) 9:00始業(23日まで)で学校再開
健康診断・体位測定 対面式
- 13日(水) 1学年実力テスト 地震対応の避難訓練
- 14日(木)～15日(金) 1年生「学びの合宿」秋保岩沼屋
- 15日(金) 建物調査委員会→本館はじめ全建築物の安全性確認
- 16日(土) 協学会(PTA)理事会
- 18日(月) 全学年そろって9:00始業45分の普通授業開始(大学キャンパス含め)
ガス復旧(電気・水道・ガスのライフライン全て復旧)
- 20日(水) 新入生制服完成
- 21日(木) 《公立始業式・入学式》
- 23日(土) (生徒授業日) 協学会(PTA)総会・学年総会
- 25日(月) 8:30始業の通常授業開始(完全正常化)

私立高校の連載④

果たす役割

東北工業大学高等学校校長 久力 誠

5月10日に行われた生徒会総会。例年であればゴールデンウィークの生活を引きずったまま、縮まりなくさわつた霧困気になるのですが、今年は違いました。

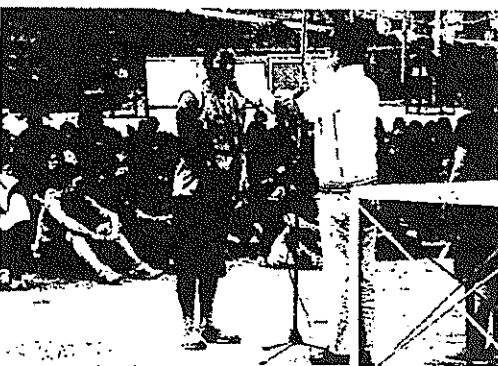
「学校は今さまざまな改革に取り組んでいます。私たちの活動にはその姿を外に伝える役割もある」とは、3年生のボランティア委員長の言葉

「本校からは絶対に教育難民を出さない。何としても早期に学校を再開する」それが教職員に向けて発した最初の言葉でした。校舎は

です。また、同じく3年生の副会長は閉会の挨拶でこう話しました。「本校は4月7日、どこよりも先駆けて開校しました。その意味と重さをしっかりとらえ、それに応えられる生徒、生徒会にならなくてはなりません」

校長として生徒の言葉が胸に染み入りました。あの日、未曾有の震災に遭遇した私たちは、翌日から他の被災地同様、休日返上で施設設備の応急手当と、職員室・事務室機能の復旧に取り組みしました。

電気が回復した14日から安否確認に入り、17日には在校生、全教職員とその家族の安否確認を終了しました。このような初期対応をしながら、震災に対して学校は何ができるのか自問していました。山となったがれきの撤去も、壊れた家を直すことも、ましてや人の命を救うこともできない。しかし、4月になっても5月になっても生徒が学校に行けないとしたら、それはいかに大変なことかということが頭をよぎりました。



5月20日体育祭。全力の汗が絆を深めた

その日の夜、大きな余震に見舞われ、2日間臨時休校にせざるを得ませんでした。4月12日から始業時間を9時に設定し、通常の活動を開始しました。昨年から力を入れてきた朝の読書。静寂の度合いが全く違います。14日から新入生が行った「学びの合宿」。会場となる秋保のホテルは、震災後初めて迎える客とあって、これを復興

早期再開を実現し 人材の育成を推進

壊れましたが、教室はある程度確保できました。特進3クラスを東北工業大学に移すことを前提に、3月18日に折衝。大学は事態を理解し、特進の職員室を含む5教室の貸与を即決してくれました。

生徒をバラバラにしないためには、登校できる生徒だけでも結集しようと、公共交通機関がほとんど復旧していない状況でしたが、3月24日の離任式・終業式を呼びかけました。6割あればと思つてい

た出席が、何と85%にも達しました。体育館に集まった生徒たちの真剣な姿と、嬉しそうな顔が私たちの思いを確信に変え、「4月7日に全員で会おう」という言葉になりました。

その7日、県内の小中高では唯一始業式、入学式を挙行。式辞の中で「ガソリンスタンドはガソリンを提供することが使命であるように、学校は教育を提供することこそが使命です」と決意を述べました。

の第一目標に準備してきたそうです。参加した生徒の姿からも、震災の中で成長してきたことがわかりました。

4月23日に行われたPTA総会。「何をしようよいか、何をすべきなのか自分自身が分からないで、現在も暮らしています。そんな時、子どもが普通に学校に行っていることが何よりの支えでした」と、ある保護者が思いの一端を熱く吐露してくれました。

この震災で改めて学んだことは、幸せとは何気ない日常の中にあるということでした。普通に動くことが復興と未来へつながる礎なのです。

日本全体は、これまで以上に激しい国際競争にさらされています。そこを守り、さらに切り拓くのは人材であり、ひとえに育成の成果に負うものであると認識して、2013年度に開校する新しい学校づくりを進めています。



久力 誠（くりき まこと）
福島県会津若松市生まれ、福島大学教育学部卒業、東北大学理学部研究生、宮城県立高校教諭として28年、管理職10年勤務後、09年4月、
学校法人東北工業大学 勤務、10年4月から東北工業大学 高等学校校長、62歳。

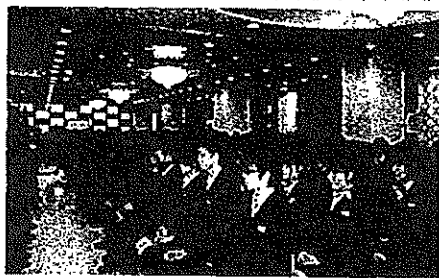
祝・入学式

フォトピック

食文化の担い手を育てる学校法人勝山学園、宮城調理製菓専門学校が4月11日、同校で行われた。同校の井澤平一理事長は「3月11日の東日本大震災で社会の担い手だった多くの方々が犠牲となりました。本校は12年に創立50周年を迎えますが、震災の経験を受け止め『食の原点』に立ち返り、食文化を伝える者として考

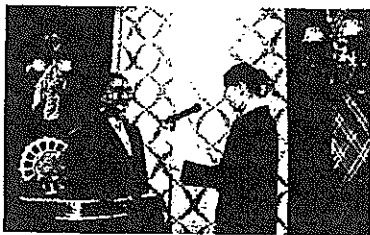


井澤理事長



学校法人 勝山学園
宮城調理製菓専門学校

食の原点に返り技術を身につける



えなければならぬと思っております。震災によって経済の低迷は今後2〜3年続くと思えます。来年の就職活動は今年以上に厳しいでしょう。大きな視野を持ち、しっかりとした技術を身につけることが重要です。震災により入学できなかった人々(7人)の思いを心に刻んで勉強してほしい」と式辞を述べた。生徒宣誓は上級調理技術科上級調理コース入学の鈴木ゆきのさんが「他人に迷惑をかけることなく、真剣に学ぶことを誓います」と力強く宣誓した。同校の11年度の新入生は288人。

優秀な人材を育てることが教育の役割

東北工業大学高等学校

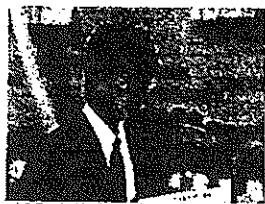
東日本大震災の傷も癒えぬ4月7日、東北工業大学高等学校の2011年度入学式が同校アリーナで挙行された。

同校の久力誠校長は式辞で「震災で人材を失ったダメージは20年後、30年後にまで及びます。経済を立て直し、厳しい国際競争を勝ち抜く原動力となるのは『人』です。学校は教育を提供する場であり、優秀な人材を育てるのが教育の役割と使命であると考えています。安心してしっかりと学んでください」と述べた。また、岩崎俊一理事長は「津波の恐ろしさやその威力がリアルタイムで全世界に配信されたことはITの成せる技です。そして、被災した人々の冷静さや秩序正しさは世界から驚きの声と賞賛を贈られています。節度、精練、秩序は日本人としての心得であり、本校の教育理念でも

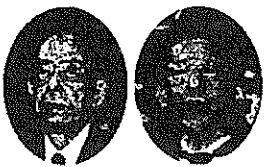
あります。今までの価値観を見直し、新しい日本を作るのはこれからです。そしてその主役が君たちです。『皆さん頑張れ』という言葉を送りたい」と激励した。

今年度の新入生は電子科、普通科合わせて237人。入学予定者1人が震災の犠牲となった。

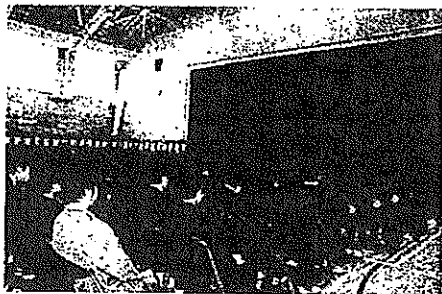
同校では現在、「大学と接続した新しい学びの創造」をキーワードに、13年度には学科名や学科の構成、学校のつくりそのものを一新する学校改革に取り組んでおり、今年度も順次取り入れていくとしている。



新入生代表の宣誓を行った
鳥谷亨杜さん



岩崎理事長 久力校長



三浦学院長

幼児教育で社会の絆を取り戻す

東北子ども福祉専門学院

（株）マザーズエリーのサービスが近畿大学豊岡短期大学と連携して運営する東北子ども福祉専門学院の入学式が4月2日、仙台サンプラザ（宮城野区榴岡）内の同学院で行われた。3月19日に予定されていた卒業式は11日の震災のため中止となり、今期入学予定者からも10人の辞退者が出る異常なスタートとなったが、それでも未来の保育士を目指す第5期生38人が真剣なまなざしで列席した。

同学院は働きながら乳幼児教育の基礎を学び、関連保育園で実践体験も積むことができる。卒業と同時に保育士、幼稚園教諭二種免許などの資格が取得できるとして評価を高めている。

三浦慎郎学院長は歓迎の式辞として、「大震災の恐ろしい状況の中で子どもたちを守り切った保育士の姿を見て、人を助けるという私たちの使命を再認識し、この仕事にあらためて誇りを持った」と語り、新入生たちに「今崩れかけている人の絆を一緒に取り戻そう」と力強く呼び掛けた。

東北工業大学高等学校
東日本大震災 被災状況

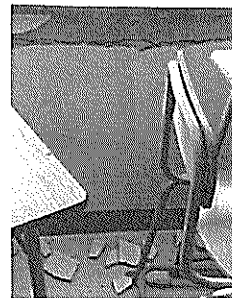
本館入り口



本館内壁3



本館内壁2



本館内壁2



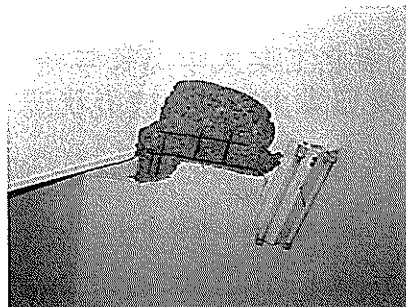
本館外講



本館階段防火扉



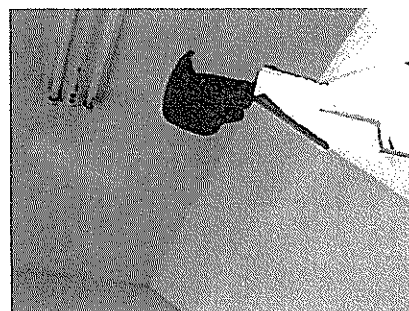
本館階段天井



本館階段2天井上から



本館階段2天井



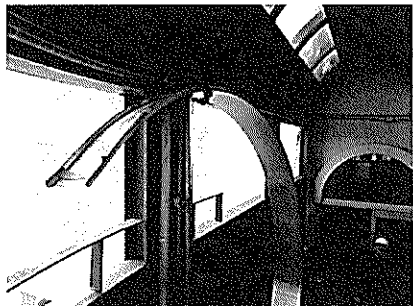
本館階段



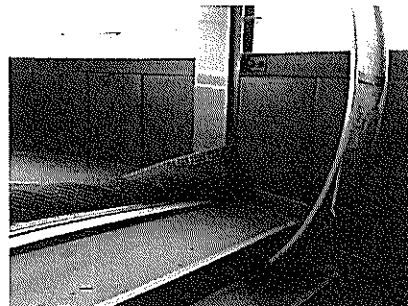
本館会議室



本館1階通路



本館1号通路2



武道館3



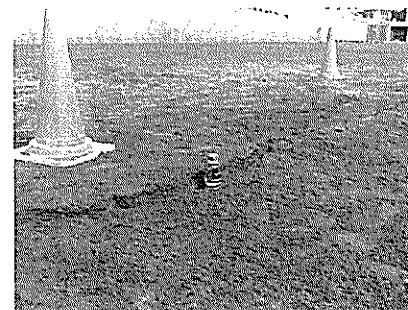
武道館1



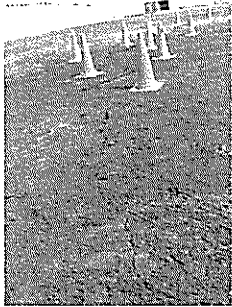
武道館2



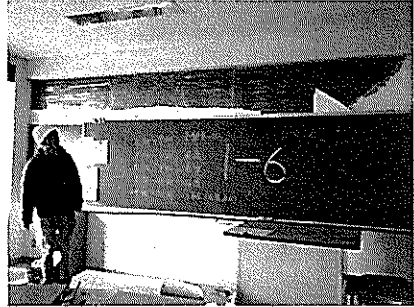
グラウンド拡大



グラウンド



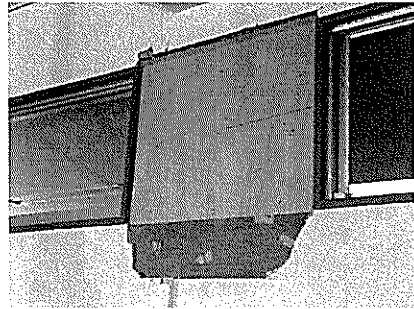
2号館内壁



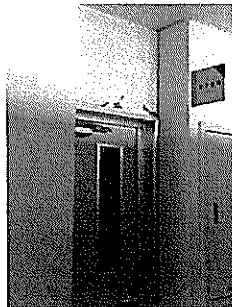
2号館内壁8-2



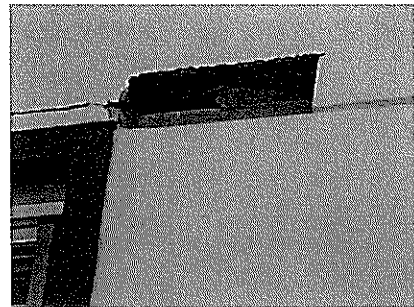
2号館内壁7



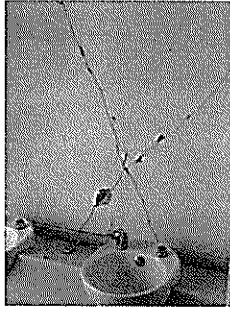
2号館内壁5



2号館内壁6



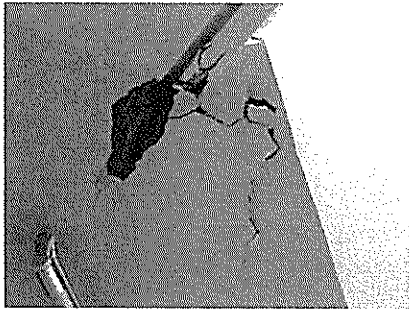
2号館内壁4



2号館内壁



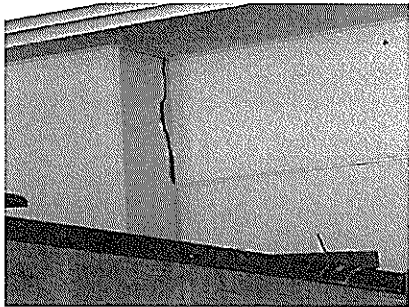
2号館内壁3



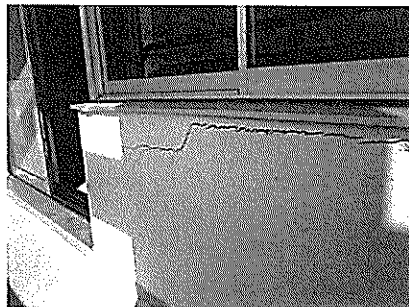
2号館実習室



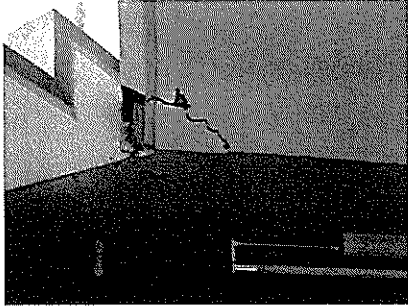
2号館実習室内壁



2号館外壁



2号館階段周り



2号館エントランス



1号館図書館

